



越谷市

令和6年(2024年)7月29日

報道機関 各位

展示「越谷から見た近代教育 150 年」の開催について

日本の近代教育は明治5年(1872年)の学制発布によって始まったとされています。この翌年に越谷市域には21もの学校が設立されました。21の学校は後に、越ヶ谷、蒲生、出羽、新方、増林、大袋、荻島、大相模の各学校となっていきました。この8校が開校150周年を迎えたことを記念して、越谷市教育委員会では、令和5年に越谷市域の近代教育150年の歴史を振り返る展示を3部に分けて開催しました。

この展示が大変好評だったことから、この度、市役所新庁舎において、同展示を再編集したパネル展示を開催します。

- 1 開催期間 (1)前期 令和6年7月30日(火)～令和6年8月8日(木)
8:30～21:00
(2)後期 令和6年8月10日(土)～令和6年8月29日(木)
8:30～21:00
- 2 会場 越谷市役所エントランス棟1階多目的ホール
- 3 主催 越谷市教育委員会
- 4 内容 (1)前期(江戸末期の寺子屋～大正期の学校と子どもたち)
近代教育の土台となった幕末の寺子屋や、明治の学制発布によって誕生した学校の様子、試行錯誤しながら進められた教育内容などについて、市域に残る教科書などの史料を通して紹介します。
(2)後期(昭和初期～現代の学校と子どもたち)
越ヶ谷小学校の校務日誌や教科書、子どもたちの写真などから、第二次大戦末期と終戦直後から現代までの教育の変化や学校の様子を紹介します。
- 5 参考 後期展示期間中の8月13日(火)～16日(金)に、同エントランス棟1階のホールにて「ミニ平和展」が開催され、後期展示に関する越谷市の戦史関連資料等も展示されます。
※詳細は総務課(Tel048-963-9140)まで

問合せ:越谷市教育委員会生涯学習課長 川澄 大治 Tel048-963-9315

加須市指定文化財『寺子屋の絵馬』（徳性寺蔵）



江戸末期の寺子屋 く大正期の学校と子どもたち

前期

令和6年度企画展

「越谷から見た近代教育150年」

越谷市域の近代教育150年の歴史を振り返る展示を前・後期に分けて開催します。前期展示では、近代教育の土台となった幕末の寺子屋や、明治の学制発布によって誕生した学校の様子、試行錯誤しながら進められた教育内容などについて、市域に残る教科書などの史料を通して紹介します。



7月30日(火)
～8月8日(木)

越谷市役所
エントランス棟1F
多目的ホール

『小学讀本 卷一』明治7年発行
(越谷市教育委員会蔵)
なんと、当時の6歳用の教科書です。

薙刀の稽古(昭和17年・現越ヶ谷小学校)



令和6年度企画展 「越谷から見た近代教育150年」

越谷市域の近代教育150年の歴史を振り返る展示を前・後期に分けて開催します。
後期展示では、越ヶ谷小学校の校務日誌や教科書、子どもたちの写真などから、第二次大戦末期と終戦直後から現代までの教育の変化や学校の様子を紹介します。

後期



越ヶ谷小学校に残されていた終戦前後の校務日誌

8月10日(土)～8月29日(木)
越谷市役所エントランス棟1F
多目的ホール

越谷市教育委員会主催 ☎048-963-9315(生涯学習課)

昭和初期
現代の学校と子どもたち